

停電時の使い方（自立運転）

○パワーコンディショナは、停電などにより電力会社から電力が供給されなくなっても、太陽電池が発電する電力を使用することができます。ここでは、その運転切り替えについてご説明致します。

①太陽光発電用ブレーカを「オフ」にしてください



②運転スイッチを「オフ」にしてください

表示部に「E1-0」が表示されていれば、太陽電池は発電しています
太陽電池が発電していないと、全ての表示は消灯しています

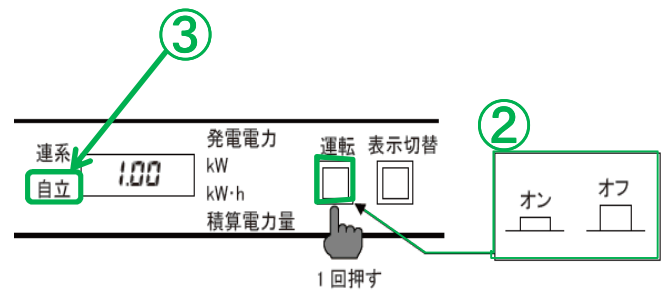


③運転スイッチを「オン」にしてください

数秒後に自立ランプが点灯し、自立運転を開始します
停電用コンセント（AC100V/15A）に使用したい機器を接続してください
※自立運転時は液晶に消費電力が表示されます



④自立運転を停止させる場合は、運転スイッチを「オフ」にしてください



※本体側面もしくは壁面の停電用コンセント
壁面のコンセント位置が不明の場合、
販売代理店にお問い合わせください

- 自立運転モード時、表示部には停電用コンセントに接続した機器の消費電力を表示します。停電用コンセントに何も接続していない場合、表示部には「0.00」を表示します。
- 翌朝に停電が回復していない場合、運転スイッチを「オン」から「オフ」にし、再度「オン」にすると、自立運転を再開します。

! 停電用コンセントから供給する電圧は、太陽の光が弱くなると必ず低下します。接続に際しては突然停止しても、安全性に問題がない機器であることを確認してください。次の機器を停電用コンセントに接続しないでください。

- ・すべての医療機器、灯油やガスを用いる冷暖房機器
- ・パソコン、ワープロなどの情報機器
- ・その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器

停電用コンセントの電圧出力が停止し、人身傷害や接続した機器に機能障害が稀に起こる恐れがあります。自立運転する前に必ず太陽光発電ブレーカをOFFしてください。万が一の場合、感電による障害や火災が起こる恐れがあります。掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が動き停止することがあります。